

いちばん、人を考える会社になる。

**第一生命**



# 2011年3月期 第2四半期決算報告

2010年11月12日  
第一生命保険株式会社

---

## 第一生命

### 決算のポイント

- 中核事業の営業指標の改善が続く。主力商品の販売が好調で、第一生命単体の新契約高は前年同期比で10.5%増加。解約失効高は同29.0%減少
- 第一生命単体の保険料等収入の増加、ヘッジ目的の金融派生商品に係る収益が経常収益に寄与。上記契約業績の改善に加え事業費削減も進み、第2四半期業績は期初予想を大幅に上回った
- リスク性資産の圧縮が進み、ソルベンシー・マージン比率も上昇するなど財務健全性の強化に向けた取組みが前進。資本再構築により新ソルベンシー・マージン規制にも対応

## 第一生命

## 連結主要業績

(億円)

&lt;参考&gt;

	10/3期 2Q累計	11/3期 2Q累計	増減率
経常収益	27,483	22,626	△18%
第一生命単体	21,425	20,943	△2%
経常利益	1,346	1,010	△25%
第一生命単体	1,358	1,062	△22%
中間純利益 <sup>(1)(2)</sup>	505	294	△42%
第一生命単体	518	341	△34%

5/14発表 上期予想	達成率	通期予想	進捗率
21,030	108%	43,260	52%
19,310	108%	39,720	53%
740	137%	1,950	52%
810	131%	2,090	51%
110	268%	500	59%
170	201%	620	55%

- (1) 前年同期との比較を可能にするため、10/3期2Q累計については、11/3期2Q累計と同様に契約者配当準備金繰入額を計上したと仮定し、10/3期に計上した契約者配当引当金繰入額925億円に1/2を乗じた金額を、中間純剰余より控除しています。
- (2) 第一生命は10/3期2Qにおいて相互会社でありましたが、中間純剰余に代えて中間純利益と記載しています。

## 第一生命

## 連結損益計算書・連結貸借対照表(要約)

連結損益計算書(要約)<sup>(1)</sup>

(億円)

	10/3期 2Q累計	11/3期 2Q累計	増減
経常収益	27,483	22,626	△4,856
保険料等収入	19,499	16,651	△2,847
資産運用収益	6,534	4,580	△1,953
うち利息・配当金等収入	3,460	3,382	△78
うち有価証券売却益	1,182	1,017	△165
うち金融派生商品収益	56	148	+91
うち特別勘定資産運用益	1,791	-	△1,791
その他経常収益	1,449	1,394	△55
経常費用	26,137	21,615	△4,521
うち保険金等支払金	12,976	12,638	△338
うち責任準備金等繰入額	7,340	2,722	△4,618
うち資産運用費用	1,286	2,070	+784
うち有価証券売却損	652	618	△33
うち特別勘定資産運用損	-	937	+937
うち事業費	2,393	2,158	△235
経常利益	1,346	1,010	△335
特別損益	△134	△106	+28
契約者配当準備金繰入額 <sup>(1)</sup>	462	412	△50
税金等調整前中間純利益 <sup>(2)</sup>	749	492	△256
法人税等合計	245	204	△41
少数株主利益(△は損失)	△1	△6	△4
中間純利益 <sup>(2)</sup>	505	294	△211

## 連結貸借対照表(要約)

(億円)

	10/4始	10/9末	増減
資産の部合計	321,042	320,541	△500
うち現預金・コール	4,373	3,874	△498
うち買入金銭債権	2,898	3,092	+194
うち有価証券	251,473	253,835	+2,362
うち貸付金	38,349	37,652	△697
うち有形固定資産	12,440	12,862	+422
うち繰延税金資産	3,395	3,506	+111
負債の部合計	311,400	311,165	△235
うち保険契約準備金	292,047	294,505	+2,458
うち責任準備金	286,326	288,992	+2,665
うち退職給付引当金	4,114	4,206	+92
うち価格変動準備金	1,155	1,225	+70
純資産の部合計	9,641	9,376	△265
うち株主資本合計	5,587	5,793	+206
うち評価・換算差額等合計	3,936	3,469	△466
うちその他有価証券評価差額金	4,622	4,170	△452
うち土地再評価差額金	△635	△647	△11

(1) 前年同期との比較を可能にするため、10/3期2Q累計については、11/3期2Q累計と同様に契約者配当準備金繰入額を計上したと仮定しています。具体的には、10/3期に計上した契約者配当引当金繰入額925億円に1/2を乗じた金額を、契約者配当準備金繰入額として記載しています。

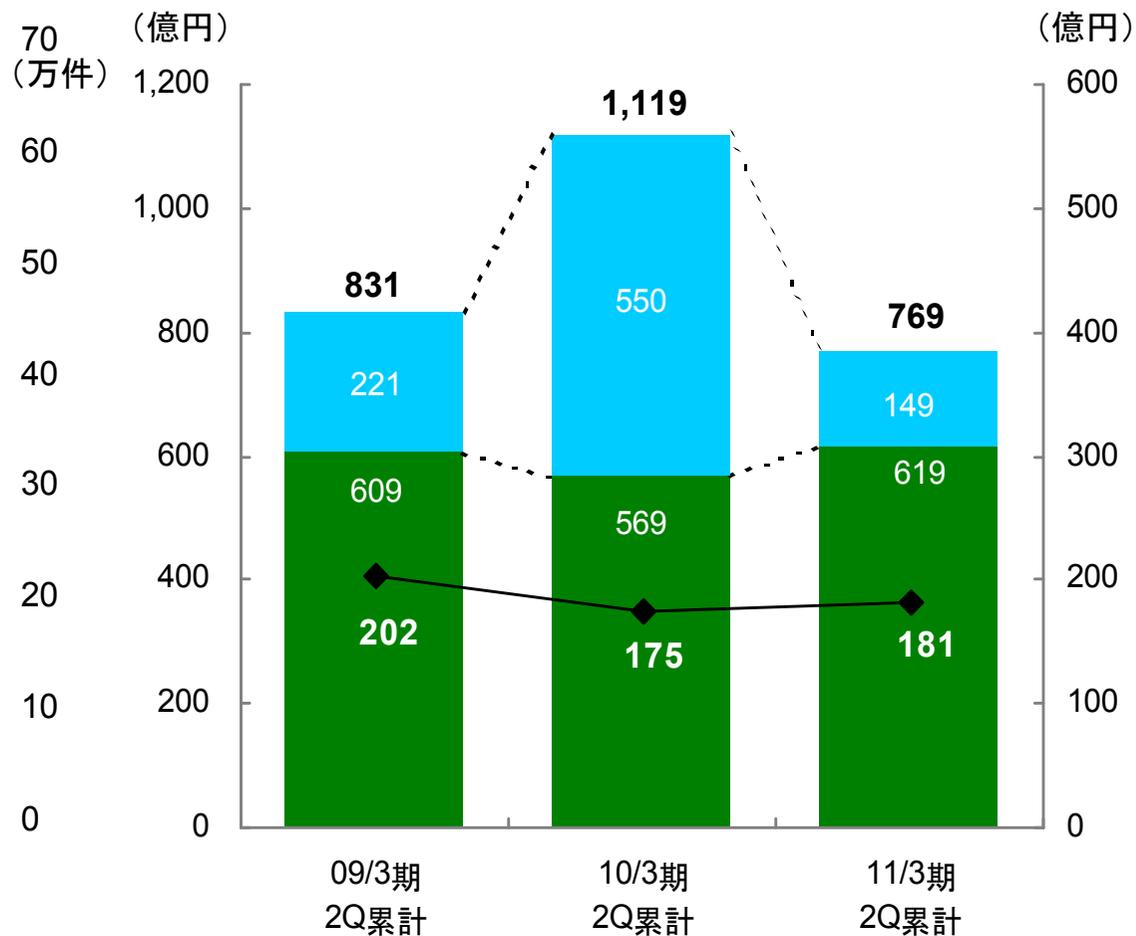
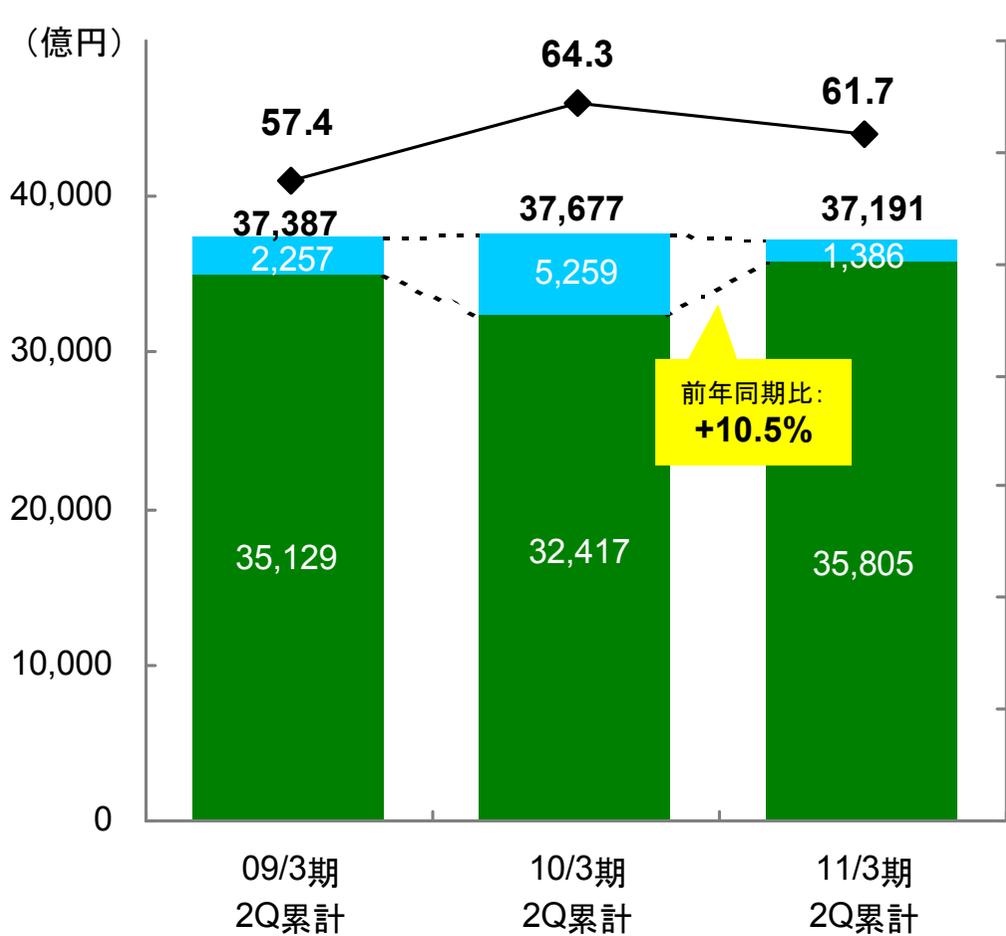
(2) 第一生命は10/3期2Qにおいて相互会社でありましたが、中間純剰余に代えて中間純利益と記載しています。

第一生命

新契約動向(個人保険・個人年金保険)

新契約高<sup>(1)</sup>

新契約年換算保険料<sup>(1)</sup>



■ 第一生命 ■ 第一フロンティア生命 ◆ 件数(右軸)

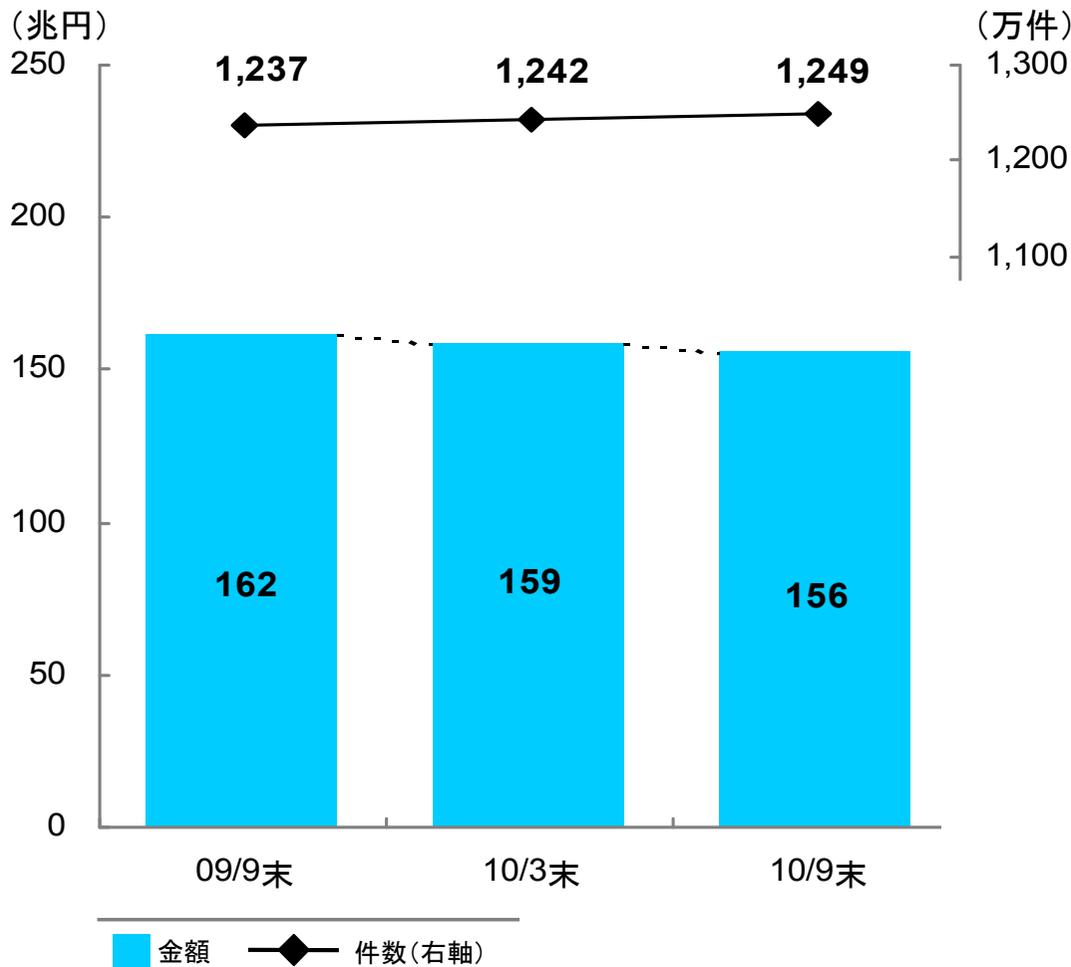
■ 第一生命 ■ 第一フロンティア生命 ◆ うち第三分野(右軸)

(1) 第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース

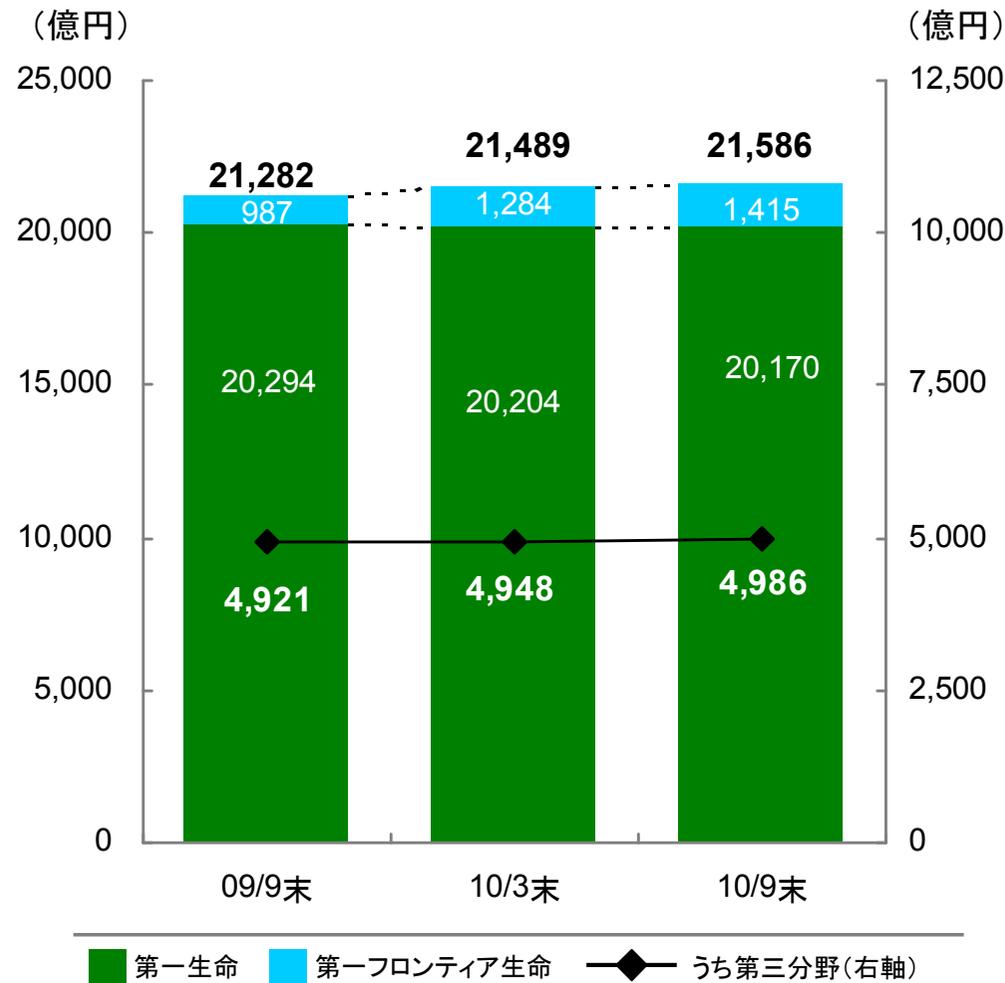
# 第一生命

## 保有契約動向(個人保険・個人年金保険)

### 保有契約高<sup>(1)</sup>



### 保有契約年換算保険料<sup>(1)</sup>

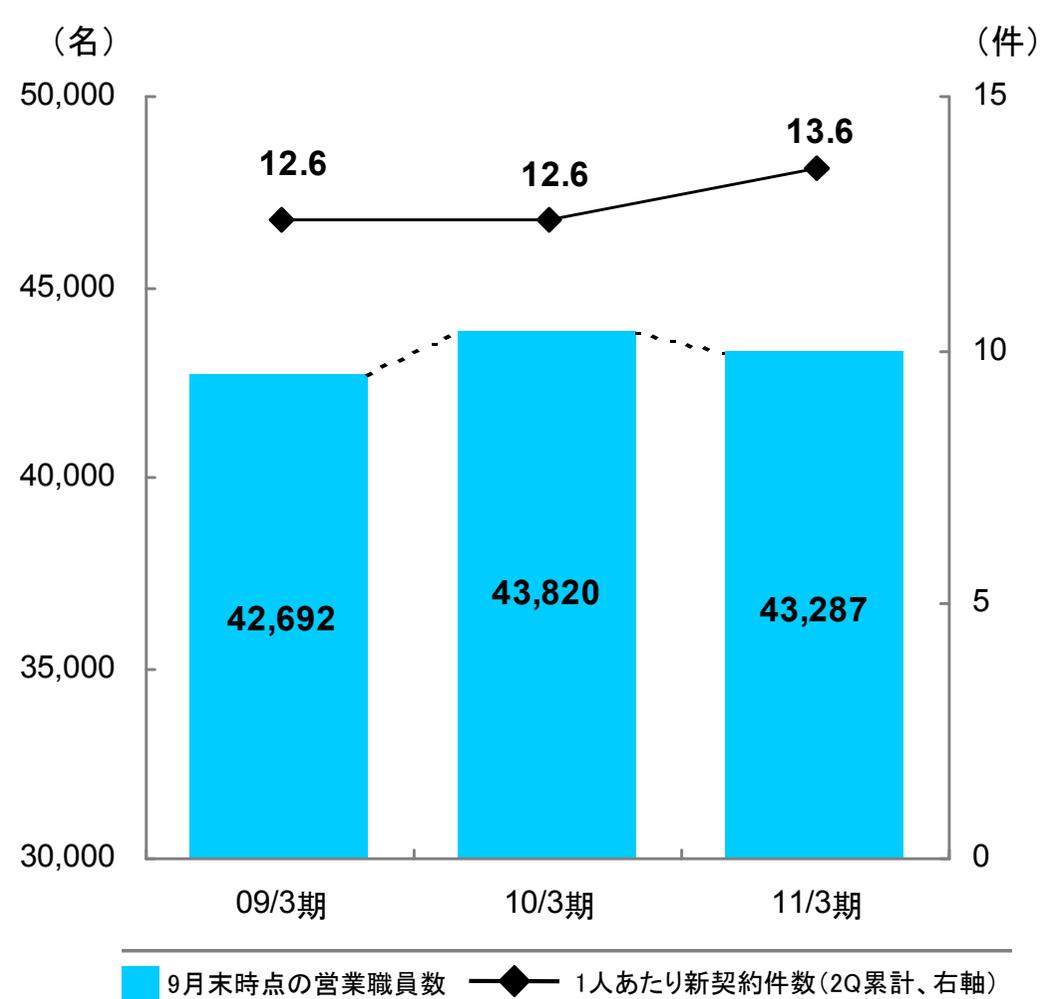
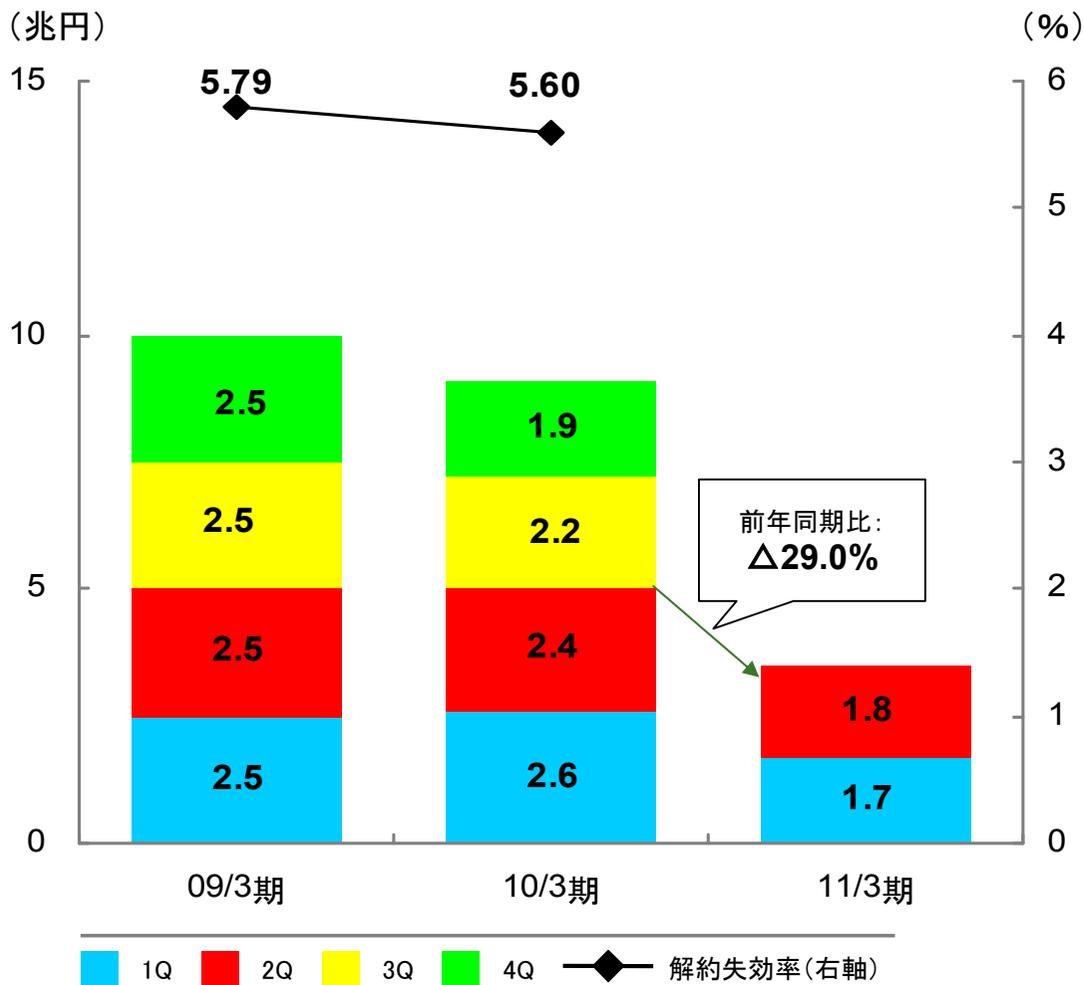


(1) 第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース

解約失効高、営業職員数および生産性

解約失効高(個人保険・個人年金保険)<sup>(1)</sup>

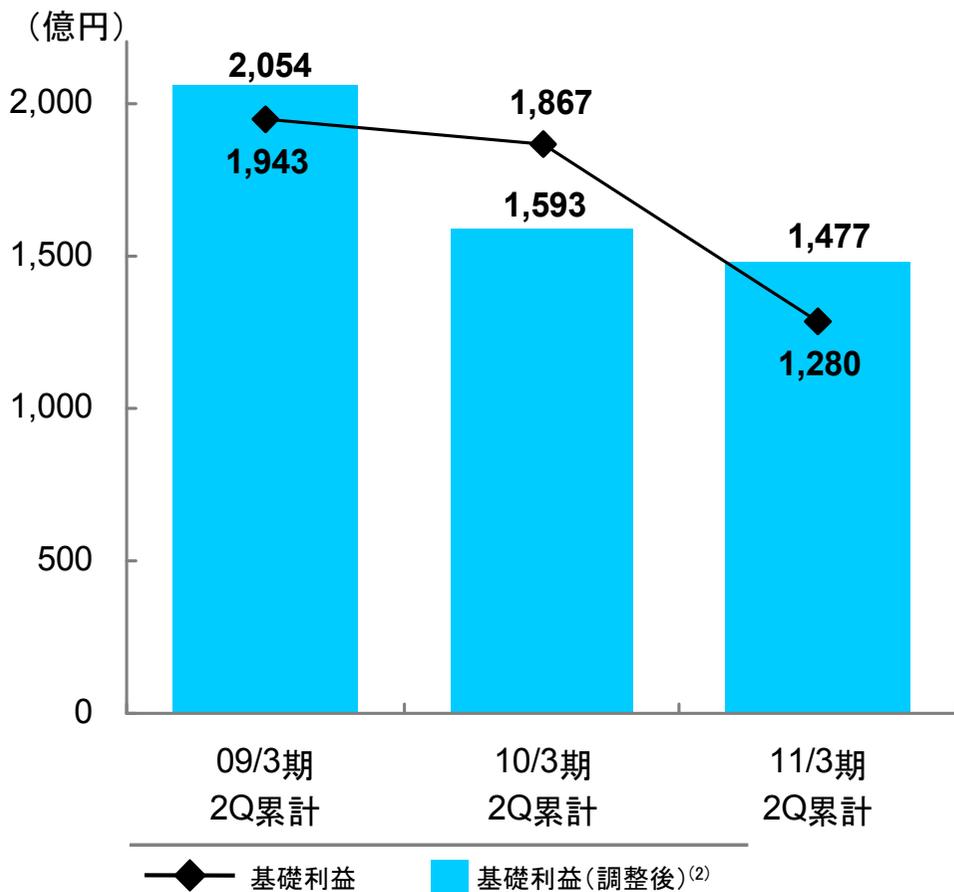
営業職員数および生産性<sup>(1)(2)</sup>



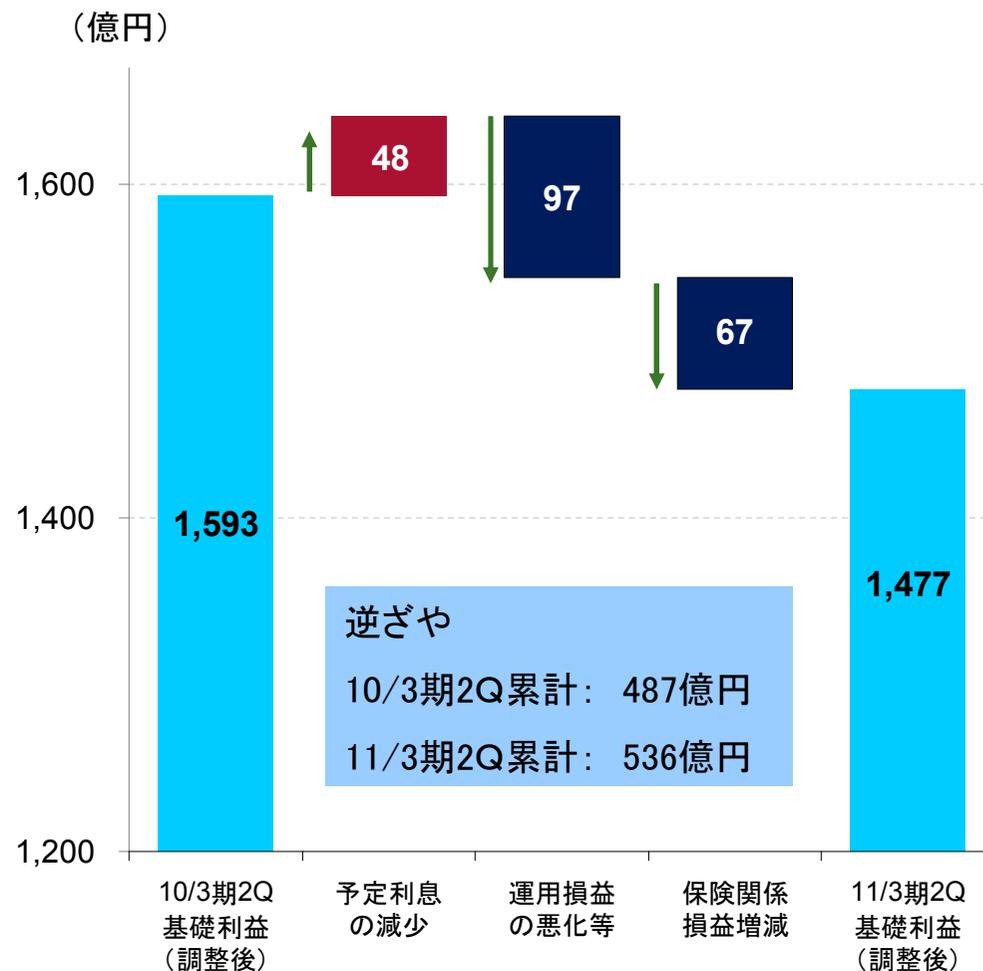
(1) 第一生命単体ベース

(2) 営業職員については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております。

基礎利益<sup>(1)</sup>



基礎利益(調整後)の変動要因<sup>(1)(2)</sup>



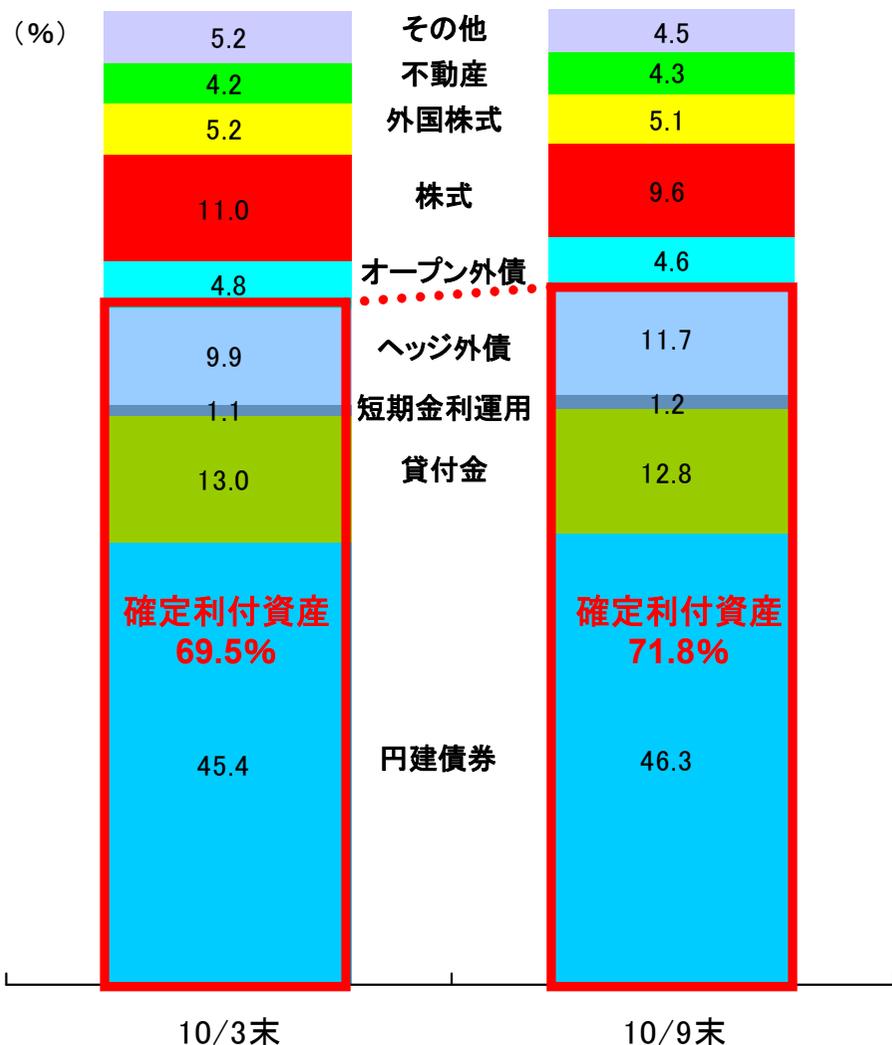
(1) 第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース

(2) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 + 変額年金の最低保証リスクに係る責任準備金繰入額

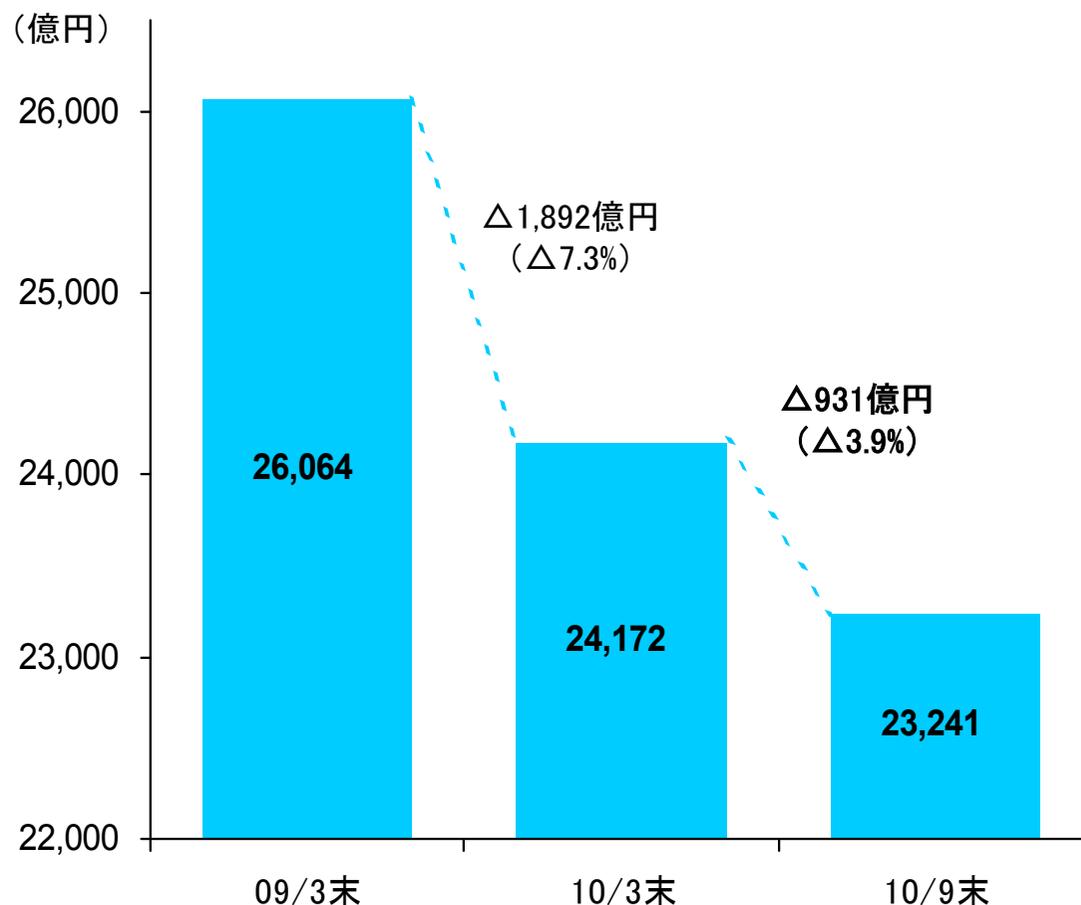
**第一生命**

一般勘定資産の状況

資産の構成(一般勘定)<sup>(1)</sup>



国内株式の簿価<sup>(1)(2)</sup>



(1) 第一生命単体ベース

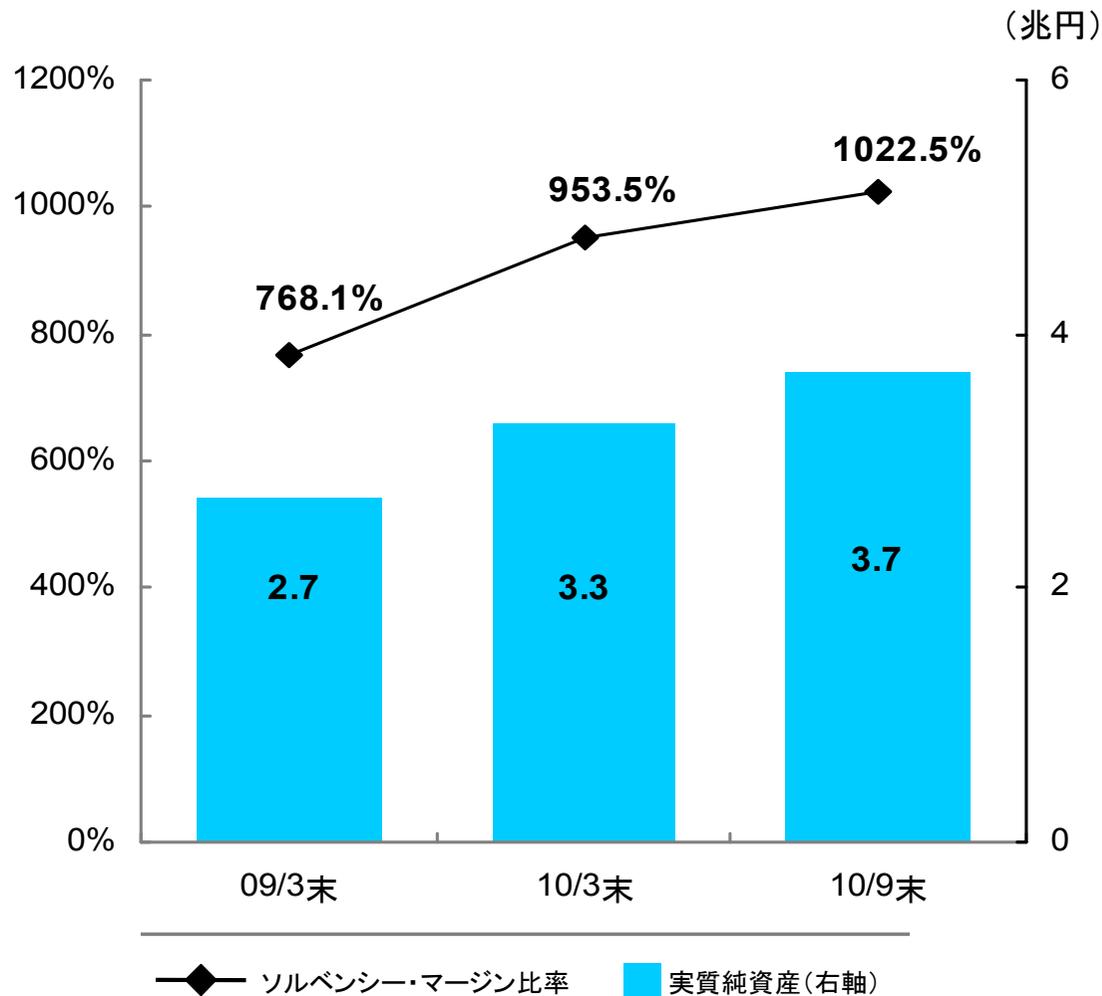
(2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く)

含み損益(一般勘定)<sup>(1)</sup>

(億円)

	10/3末	10/9末	増減
有価証券	8,514	12,317	+3,802
国内債券	2,657	9,491	+6,834
国内株式	5,225	2,033	△3,192
外国証券	598	703	+104
不動産	908	711	△197
その他共計	9,420	13,016	+3,596

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額<sup>(1)</sup>

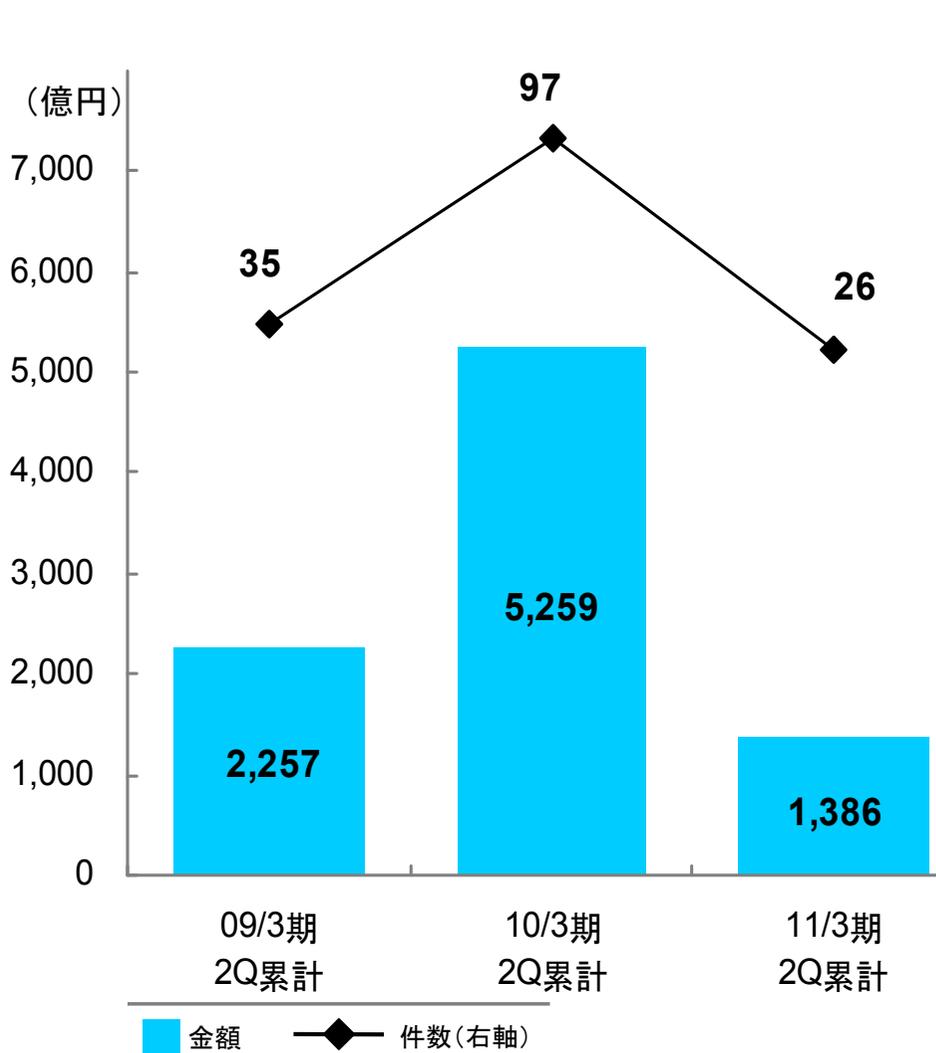


(1) 第一生命単体ベース

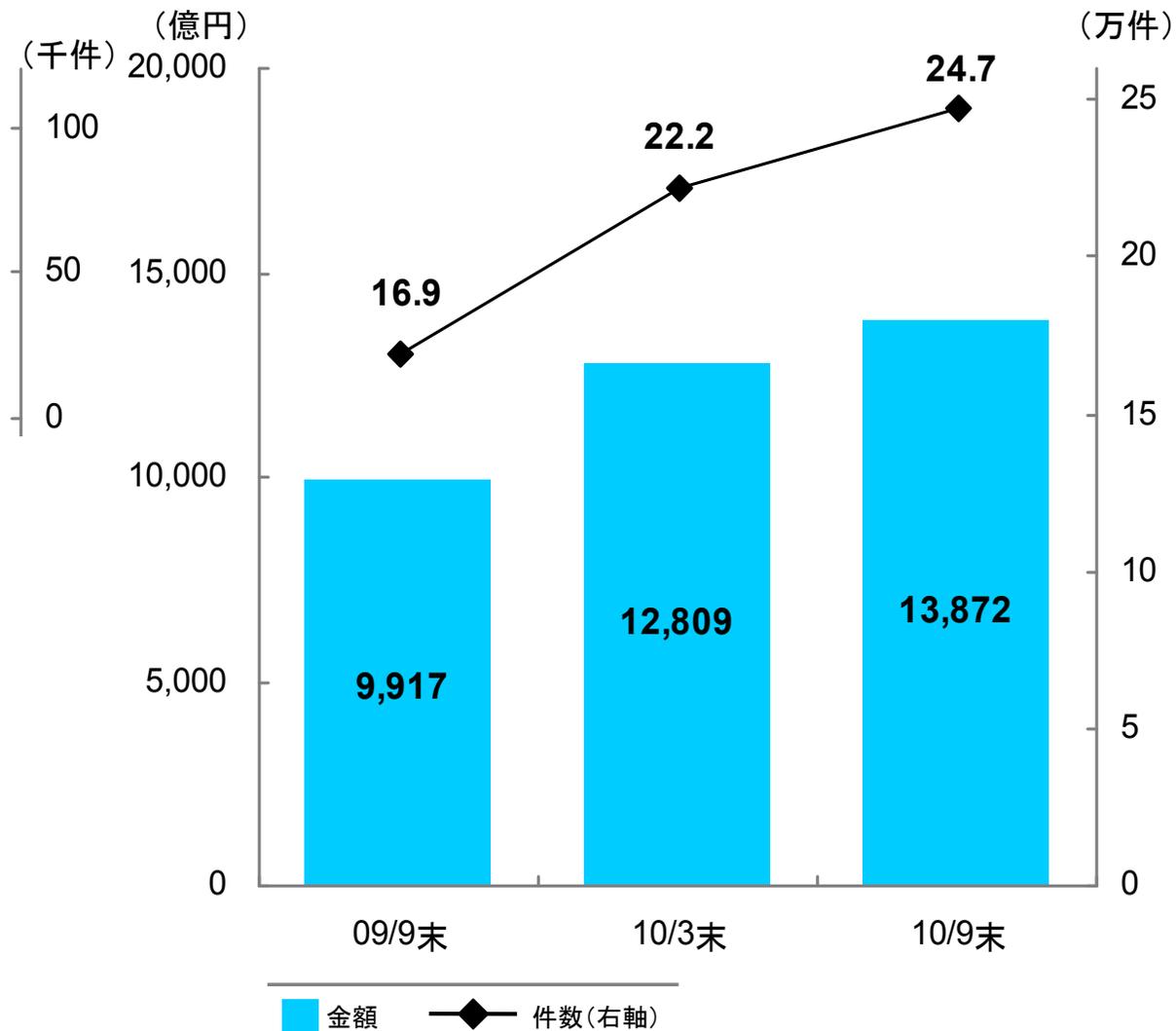
第一生命

第一フロンティア生命①

新契約高



保有契約高



# 第一生命

## 第一フロンティア生命②

### 収支の状況

	(億円)		<参考>
	10/3期 2Q累計	11/3期 2Q累計	11/3期 上期予想
経常収益	6,070	1,666	1,700
うち保険料等収入	5,533	1,616	
うち変額年金	4,883	1,236	
うち定額年金	358	147	
うち資産運用収益	533	50	
うち最低保証リスクに対するヘッジ利益(A)	-	39	
経常費用	6,100	1,731	
うち責任準備金等繰入額	5,624	1,081	
うち最低保証リスクに係る責任準備金繰入額(△は戻入)(B)	△ 246	184	
うち危険準備金繰入額(C)	237	10	
うち資産運用費用	36	187	
うち最低保証リスクに対するヘッジ損失(D)	34	-	
経常利益(△は損失)	△ 30	△ 64	△ 80
当期純利益(△は損失)	△ 30	△ 61	△ 80
当期純利益 - (A) + (B) + (C) + (D)	△ 4	94	

## 2011年3月期業績予想(期初予想から変更なし)

(億円)

	10/3期	11/3期(予)	増減
経常収益	52,940	43,260	△9,680
第一生命単体	43,315	39,720	△3,595
第一フロンティア	9,613	3,500	△6,113
経常利益	1,882	1,950	+67
第一生命単体	1,936	2,090	+153
第一フロンティア	△83	△160	△76
当期純利益	556	500	△56
第一生命単体	608	620	+11
第一フロンティア <sup>(1)</sup>	△76	△144	△67
1株当たり配当金	—	1,600円	—

(※)上記とは別に、組織変更時の定款附則第2条の規定に基づき2010年4月16日を基準日として、第1回株主配当(1株当たり1,000円)を実施しました。

(参考)

基礎利益 (第一生命単体)	3,301	3,000弱	—
------------------	-------	--------	---

**第一生命**

**資本の再構築(期限付劣後借入の永久劣後借入化)**

新ソルベンシー・マージン規制等を踏まえ、新SMRでの資本算入が可能な永久劣後借入(3,200億円)への大規模な再構築を実現

- 永久、かつ利払繰延条項等を付すことで、新SMR上の「特定負債性資本調達手段」の要件を満たすとともに、経済価値ベースでの資本水準向上にも寄与
- 株式の希薄化は伴わない設計とし、適正な資本コスト・資本構成を追求

条件変更前

条件変更後

残高合計 約3,595億円

残高合計 約3,965億円

ドル建劣後債 <sup>(1)</sup>	465億円
証券化劣後債	300億円
シ・ローン形式 期限付劣後借入	1,830億円
相対期限付劣後借入	1,000億円

ドル建劣後債 <sup>(1)</sup>	465億円
証券化劣後債	300億円
シ・ローン形式 永久劣後借入	2,200億円
相対永久劣後借入	1,000億円

条件変更+一部増額

全額条件変更

- ・永久劣後(5年経過後コール可能)
- ・5年経過後100bpステップアップ
- ・現SMR600%(新SMR300%)を下回る場合等に利払任意繰延
- ・繰延利息は累積

- ・同上、但し繰延利息は非累積

(1) 2010年3月末の為替レートで換算。

## 第一生命

## ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー

## 第一生命グループのEEV

(億円)

	10/3末	10/9末	増減
EEV	28,363	21,423	△6,939
修正純資産 <sup>(1)</sup>	18,214	20,516	+2,301
保有契約価値 <sup>(1)</sup>	10,148	907	△9,240

	10/3期 上半期	11/3期 上半期	増減	10/3期 年間
新契約価値	333	472	+138	1,189

## 第一生命単体のEEV

	10/3末	10/9末	増減
EEV	28,680	21,989	△6,691
修正純資産	18,809	21,141	+2,332
保有契約価値	9,871	847	△9,024

	10/3期 上半期	11/3期 上半期	増減	10/3期 年間
新契約価値	490	475	△14	1,356

## 第一フロンティア生命のEEV

	10/3末	10/9末	増減
EEV	1,463	1,187	△275
修正純資産 <sup>(1)</sup>	1,155	1,120	△35
保有契約価値 <sup>(1)</sup>	307	67	△240

	10/3期 上半期	11/3期 上半期	増減	10/3期 年間
新契約価値	△173	△3	+169	△185

(1) 第一フロンティア生命は、新契約の初期コストの未回収リスクの軽減を目的として、修正共同保険式再保険等の再保険を活用していますが、当該再保険に係る調整を10/9末より行っています。本調整は修正共同保険式再保険等に係る将来の償却コスト相当額を保有契約価値から修正純資産へ振替えたものであり、EEVの総額には影響しません(第一フロンティア生命の修正純資産への影響額は▲466億円、保有契約価値への影響額は466億円です。グループベースでの影響額は出資比率に応じ、90.0%となります。)。10/3末についても、新基準で計算し直した比較可能なベースで掲載しています。

いちばん、人を考える会社になる。

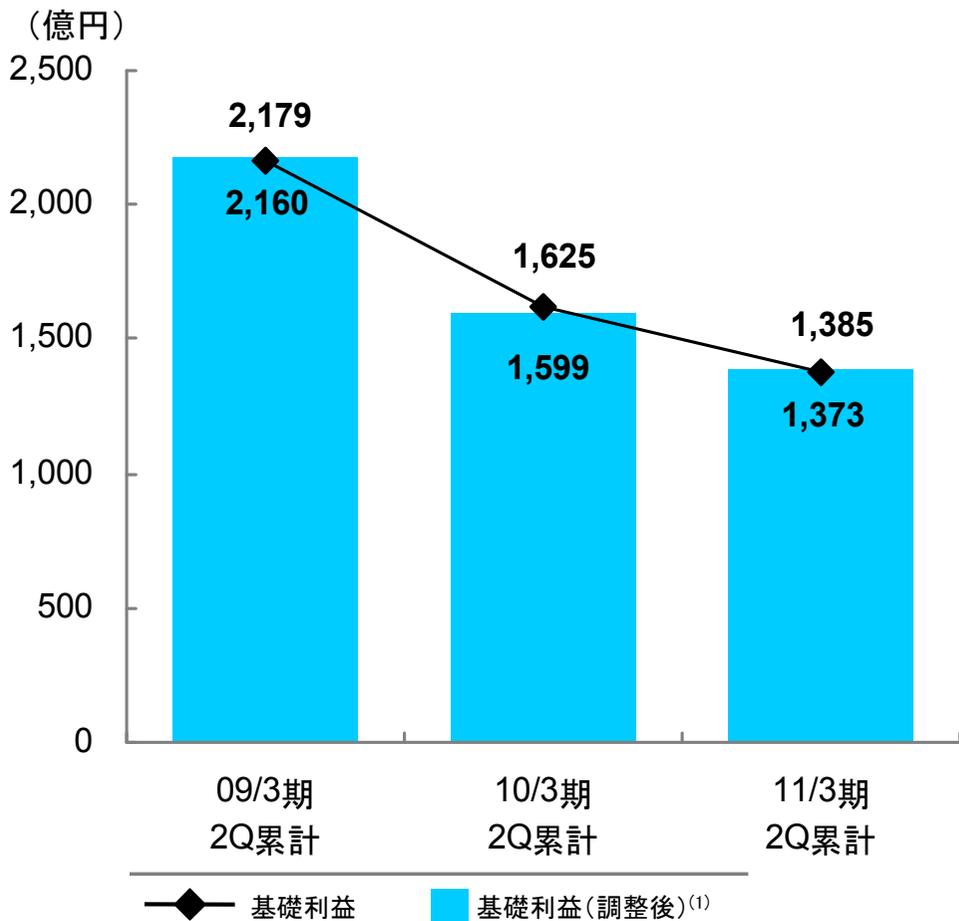
**第一生命**

参考データ

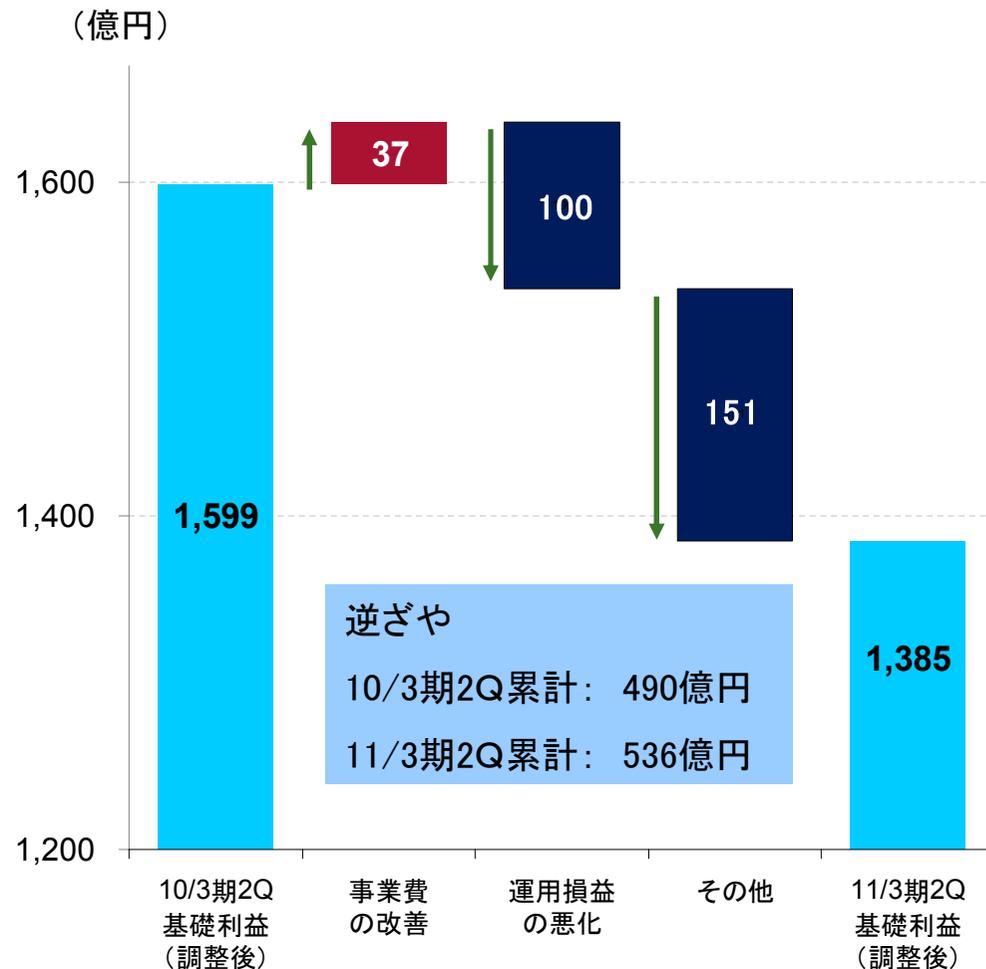
**第一生命**

**第一生命(単体)基礎利益**

**基礎利益**



**基礎利益(調整後)の変動要因<sup>(1)</sup>**



(1) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 + 変額年金の最低保証リスクに係る責任準備金繰入額

**第一生命**

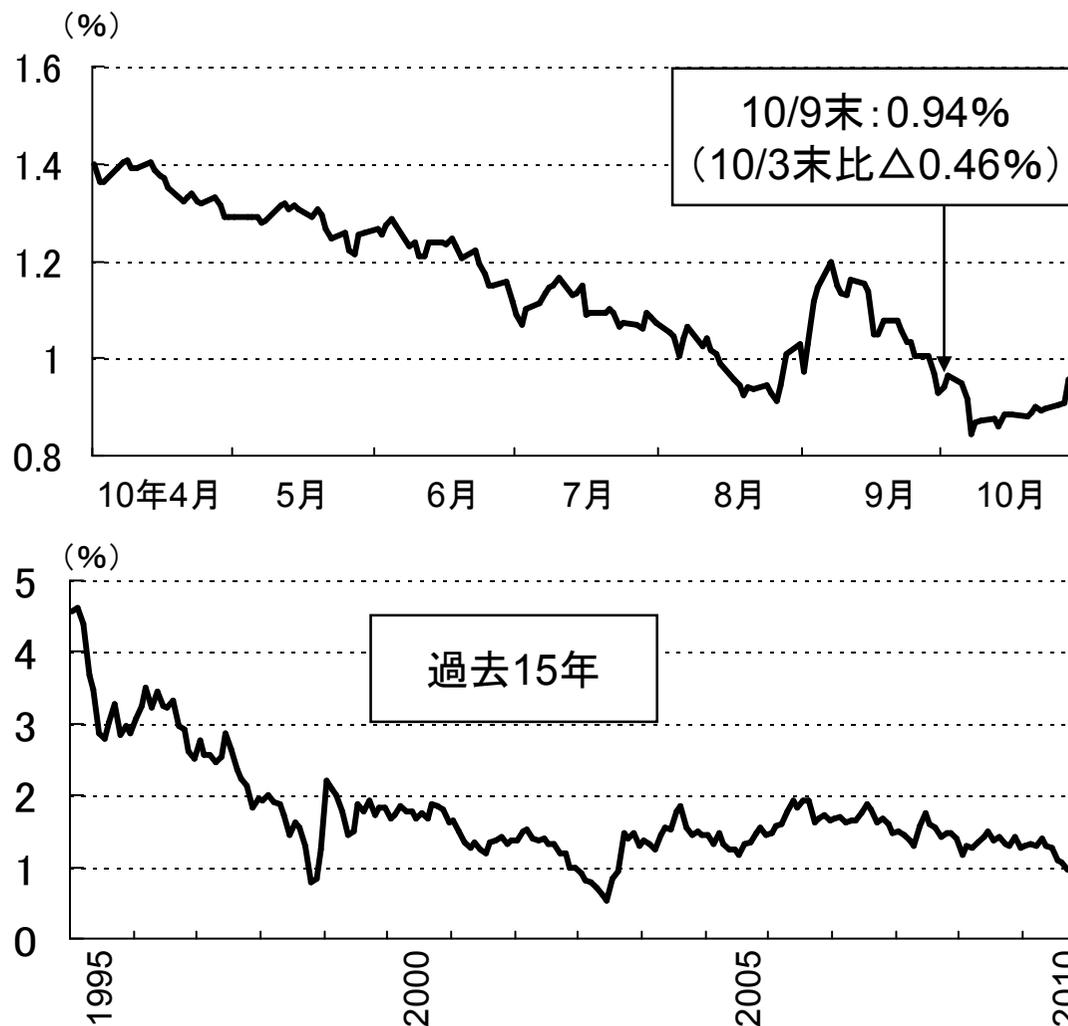
EEV感応度(10/3末時点)および10年国債金利の推移

EEV感応度(10/3末時点、第一生命グループ)

(億円)

前提条件	増減額
リスク・フリー・レート0.5%上昇	+3,459
保有契約価値	+9,660
修正純資産	△6,200
リスク・フリー・レート0.5%低下	△4,242
保有契約価値	△10,087
修正純資産	+5,844
株式・不動産価値10%下落	△3,208
保有契約価値	+84
修正純資産	△3,292

10年国債金利の推移<sup>(1)</sup>



(1) データ: Bloomberg

第一生命

金融市場への感応度(2010年9月末)

	感応度 <sup>(1)(2)</sup>	含み損益ゼロ水準 <sup>(2)(3)</sup>
国内株式	日経平均株価 1,000円の変動で 2,700億円(2,700億円)の増減	日経平均株価 ¥8,500 (¥8,700)
国内債券	10年国債利回り 10bpの変動で 1,600億円(1,500億円)の増減	10年国債利回り 1.5% (1.6%)
外国証券	ドル/円 1円の変動で 190億円(180億円)の増減	ドル/円 \$1 = ¥91 (¥95)

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度。

(2) ( )の数値は2010年3月末の水準

(3) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準。外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準。

# 第一生命

## 第一生命(単体)財務諸表

### 損益計算書(要約)<sup>(1)</sup>

(億円)

	10/3期 2Q累計	11/3期 2Q累計	増減
経常収益	21,425	20,943	△481
保険料等収入	13,948	15,017	+1,069
資産運用収益	6,030	4,563	△1,466
うち利息・配当金等収入	3,463	3,383	△80
うち有価証券売却益	1,181	1,016	△164
うち金融派生商品収益	56	150	+93
うち特別勘定資産運用益	1,265	-	△1,265
その他経常収益	1,446	1,362	△83
経常費用	20,066	19,881	△184
うち保険金等支払金	12,830	12,236	△594
うち責任準備金等繰入額	1,706	1,635	△70
うち資産運用費用	1,300	1,908	+608
うち有価証券売却損	652	618	△33
うち特別勘定資産運用損	-	756	+756
うち事業費	2,140	2,102	△37
経常利益	1,358	1,062	△296
特別損益	△134	△105	+28
契約者配当準備金繰入額 <sup>(1)</sup>	462	412	△50
税引前中間純利益 <sup>(2)</sup>	762	544	△217
法人税等合計	243	202	△41
中間純利益 <sup>(2)</sup>	518	341	△176

### 貸借対照表(要約)

(億円)

	10/4始	10/9末	増減
資産の部合計	308,224	306,675	△1,549
うち現預金・コール	3,976	3,613	△362
うち買入金銭債権	2,898	3,092	+194
うち有価証券	239,879	241,242	+1,363
うち貸付金	38,343	37,646	△697
うち有形固定資産	12,436	12,858	+422
うち繰延税金資産	3,376	3,487	+110
負債の部合計	298,221	296,904	△1,317
うち保険契約準備金	278,962	280,338	+1,376
うち責任準備金	273,248	274,833	+1,585
うち危険準備金	5,270	5,360	+90
うち退職給付引当金	4,096	4,188	+92
うち価格変動準備金	1,154	1,224	+70
純資産の部合計	10,003	9,771	△231
うち株主資本合計	6,046	6,300	+253
うち評価・換算差額等合計	3,956	3,470	△485
うちその他有価証券評価差額金	4,611	4,146	△465
うち土地再評価差額金	△635	△647	△11

(1) 前年同期との比較を可能にするため、10/3期2Q累計については、11/3期2Q累計と同様に契約者配当準備金繰入額を計上したと仮定しています。具体的には、10/3期に計上した契約者配当引当金繰入額925億円に1/2を乗じた金額を、契約者配当準備金繰入額として記載しています。

(2) 第一生命は10/3期2Qにおいて相互会社でありましたが、中間純剰余に代えて中間純利益と記載しています。



## 第一フロンティア生命(単体)財務諸表

## 損益計算書(要約)

(億円)

	10/3期 2Q累計	11/3期 2Q累計	増減
経常収益	6,070	1,666	△4,403
うち保険料等収入	5,533	1,616	△3,917
うち資産運用収益	533	50	△483
経常費用	6,100	1,731	△4,369
うち保険金等支払金	142	396	+254
うち責任準備金等繰入額	5,624	1,081	△4,543
うち資産運用費用	36	187	+151
うち事業費	264	61	△203
経常損益	△30	△64	△34
特別損益	△0	2	+3
税引前中間純損益	△30	△61	△31
法人税等合計	0	0	+0
中間純損益	△30	△61	△31

## 貸借対照表(要約)

(億円)

	10/3末	10/9末	増減
資産の部合計	14,231	15,265	+1,033
うち現預金・コール	300	168	△131
うち有価証券	13,135	14,115	+979
負債の部合計	13,057	14,137	+1,080
うち保険契約準備金	13,002	14,084	+1,081
うち責任準備金	12,996	14,076	+1,080
うち危険準備金	447	458	+10
純資産の部合計	1,174	1,127	△46
うち株主資本合計	1,162	1,100	△61
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	△687	△749	△61

## 免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命保険株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

2011年3月期第2四半期 決算記者会見資料

①契約の状況等(第一生命と第一フロンティア生命の合算値)

		2010年9月期		10年3月期	09年9月期	
			10/3期比			09/9期比
新契約年換算保険料(合算値)	(百万円)	76,972	—	△ 31.2	205,635	111,944
うち第一生命分	(百万円)	61,977	—	+ 8.9	119,687	56,908
うち第三分野	(百万円)	18,190	—	+ 3.7	36,423	17,546
保有契約年換算保険料(合算値)	(百万円)	2,158,618	+ 0.5	+ 1.4	2,148,903	2,128,235
うち第一生命分	(百万円)	2,017,022	△ 0.2	△ 0.6	2,020,470	2,029,459
うち第三分野	(百万円)	498,696	+ 0.8	+ 1.3	494,814	492,112
保険料等収入(合算値)	(百万円)	1,663,375	—	△ 14.6	3,700,515	1,948,192
うち個人保険分野	(百万円)	1,128,155	—	△ 23.0	2,717,006	1,464,601
うち団体保険分野	(百万円)	488,997	—	+13.1	879,528	432,547
保険料等収入(第一生命分)	(百万円)	1,501,746	—	+ 7.7	2,837,251	1,394,816
うち個人保険分野	(百万円)	989,755	—	+ 5.2	1,912,458	940,392
うち団体保険分野	(百万円)	488,997	—	+13.1	879,528	432,547
新契約高(合算値)	(百万円)	3,719,160	—	△ 1.3	7,643,362	3,767,745
うち第一生命分	(百万円)	3,580,530	—	+10.5	6,835,864	3,241,757
保有契約高(合算値)	(百万円)	156,217,194	△ 1.8	—	159,052,744	162,446,655
うち第一生命分	(百万円)	154,829,908	△ 1.9	—	157,771,800	161,454,869
解約・失効高(合算値)	(百万円)	3,620,203	—	△ 28.9	9,316,525	5,089,436
うち第一生命分	(百万円)	3,609,505	—	△ 29.0	9,306,216	5,086,776
解約・失効率(合算値)	(%)	2.28	—	—	5.60	3.06
うち第一生命分	(%)	2.29	—	—	5.60	3.06

\* 保険料等収入以外は個人保険+個人年金保険

※3月期比、9月期比は増減比率

\* 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。

\* 保険料等収入は損益計算書ベース

\* 保険料収入のうち個人保険分野は個人保険+個人年金、団体保険分野は団体保険+団体年金の合計保険料(再保険料収入は含まない)

\* 解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出、主契約が継続している「減額」・「特約解約」を除く

②資産の状況等

		2010年9月末		10年3月末	09年9月末	
			10/3末比			09/9末比
総資産	(百万円)	30,667,565	△ 0.5	+0.6	30,822,467	30,498,821
実質純資産額	(億円)	37,831	+13.9	+8.3	33,216	34,929
実質純資産額/一般勘定資産	(%)	12.8	—	—	11.2	11.9
ソルベンシー・マージン比率	(%)	1,022.5	+69.0	+68.3	953.5	954.2

※第一生命の実績を掲載

※3月末比、9月末比は増減比率(ソルベンシー・マージン比率は増減ポイント)

③基礎利益・逆ざや

		2010年9月期		10年3月期	09年9月期	
			09/9期増減額			09/9期増減率
基礎利益(第一生命)	(百万円)	137,378	△ 25,215	△ 15.5	330,152	162,594
基礎利益(第一フロンティア生命)	(百万円)	△ 9,356	△ 33,476	—	47,780	24,120
基礎利益(第一、第一フロンティア合算値)	(百万円)	128,022	△ 58,691	△ 31.4	377,933	186,714

※合算値は第一生命、第一フロンティア生命の単純和を記載

		2011年3月期の予想	2010年3月期の実額
逆ざや額(正值の場合は順ざや額)	(億円)	増加の見込み	△ 828

※第一生命の実績を掲載

④基礎利益の内訳

(第一生命と第一フロンティア生命の合算値)

		2010年9月期			10年3月期	09年9月期
			09/9期増減額	09/9期増減率		
基礎利益	(百万円)	128,022	△ 58,691	△ 31.4	377,933	186,714
逆ざや額(正值の場合は順ざや額)	(百万円)	△ 53,655	△ 4,931	+10.1	△ 82,421	△ 48,723
最低保証に係る一般勘定責任準備金の繰入・戻入の影響	(百万円)	△ 19,688	△ 47,032	—	40,673	27,343
保険関係損益	(百万円)	201,366	△ 6,728	△ 3.2	419,681	208,094

(第一生命単体)

		2010年9月期			10年3月期	09年9月期
			09/9期増減額	09/9期増減率		
基礎利益	(百万円)	137,378	△ 25,215	△ 15.5	330,152	162,594
逆ざや額(正值の場合は順ざや額)	(百万円)	△ 53,692	△ 4,650	+ 9.5	△ 82,898	△ 49,041
最低保証に係る一般勘定責任準備金の繰入・戻入の影響	(百万円)	△ 1,192	△ 3,846	—	3,764	2,653
保険関係損益	(百万円)	192,263	△ 16,718	△ 8.0	409,285	208,982
うち危険差益	(百万円)	189,367	△ 434	△ 0.2	373,998	189,802

※最低保証に係る一般勘定責任準備金とは、変額年金保険の最低保証リスクに対して、標準責任準備金制度の一環として積み立てているものです。

※最低保証に係る一般勘定責任準備金を繰り入れた場合は基礎利益を減少させる要因に、また、最低保証に係る一般勘定責任準備金を戻し入れた場合は基礎利益を増加させる要因になります。

⑤準備金

		2010年9月末			10年3月末	09年9月末
			10/3末比	09/9末比		
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	26,947,278	+149,532	+293,035	26,797,745	26,654,242
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	25,781,643	+255,470	+357,605	25,526,173	25,424,037
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	1,165,634	△ 105,937	△ 64,570	1,271,572	1,230,205
価格変動準備金	(百万円)	122,453	+7,000	+14,000	115,453	108,453
危険準備金	(百万円)	536,093	+9,000	+18,000	527,093	518,093
うち危険準備金Ⅰ	(百万円)	159,699	△ 2,394	△ 3,831	162,093	163,531
うち危険準備金Ⅱ	(百万円)	211,893	+10,226	+12,123	201,666	199,770
うち危険準備金Ⅲ	(百万円)	11,607	△ 1,299	△ 1,197	12,906	12,805
うち危険準備金Ⅳ	(百万円)	152,892	+2,466	+10,905	150,425	141,986
危険準備積立金	(百万円)	43,120	—	△ 19	43,120	43,139
価格変動積立金	(百万円)	65,000	—	+10,000	65,000	55,000

※第一生命の実績を掲載

※3月末比、9月末比は増減率

⑥含み損益

		2010年9月末			10年3月末	09年9月末
			10/3末比	09/9末比		
有価証券	(百万円)	1,231,700	+380,249	+347,546	851,450	884,154
うち国内株式	(百万円)	203,367	△ 319,207	△ 281,201	522,575	484,568
うち国内債券	(百万円)	949,197	+683,427	+577,909	265,770	371,288
うち外国証券	(百万円)	70,330	+10,486	+44,283	59,843	26,047
不動産	(百万円)	71,111	△ 19,767	△ 99,206	90,879	170,317
その他共計	(百万円)	1,301,660	+359,630	+246,768	942,030	1,054,892

※不動産の含み損益は国内不動産(含む借地権)を対象とし、再評価前の水準

※3月末比、9月末比は増減率

※第一生命の実績を掲載

⑦運用実績と計画

		上期実績	下期計画
国内株式	(百万円)	△ 413,347	微減または減少
国内債券	(百万円)	186,863	増加
外国株等	(百万円)	△ 37,650	横ばい
外国債券	(百万円)	508,406	横ばい
不動産	(百万円)	42,374	横ばい

※第一生命の実績を掲載

⑧資産含み損益がゼロになる水準

		2010年9月末時点
国内株式(日経平均)	(円)	8,500円程度
国内株式(TOPIX)	(ポイント)	760ポイント程度
国内債券	(%)	1.5%程度
外国証券	(円)	91円程度

※株式は日経平均およびTOPIXにフル連動させ、株式の評価基準にあわせて算出  
 ※国内債券は10年新発国債利回り換算し、小数点第1位まで算出  
 ※外国証券はドル円換算にて算出  
 ※第一生命の実績を掲載

⑨2011年3月期の業績見通し

		2011年3月期の予想
保険料等収入	(百万円)	横ばいの見込み
基礎利益	(百万円)	3,000億円弱
保有契約高	(百万円)	若干の減少の見込み
保有契約年換算保険料	(百万円)	若干の減少の見込み

※第一生命の業績見通しを掲載

⑩銀行との資本持ち合いについて

i 銀行からの拠出(総額)

		2010年9月末
株式に対する拠出	(百万円)	111,773
劣後ローン等	(百万円)	100,000

※株式に対する拠出は、都市銀行・地方銀行・信託銀行(信託勘定を除く)・信用金庫の保有する当社株式を9月末の時価で評価  
 ※劣後ローン等に、シンジケート・ローンによる拠出は含まない  
 ※第一生命の実績を掲載

ii 銀行への拠出(総額)

		2010年9月末
保有している銀行株(時価総額)	(百万円)	347,385
劣後ローン等	(百万円)	1,525,521

※銀行への拠出の保有している株式には、優先株を含む。(各行・グループの海外現法への出資は除く)  
 ※銀行への拠出の劣後ローン等は、劣後ローン、劣後債及び優先出資証券  
 ※第一生命の実績を掲載

⑪職員数

		2010年9月末			10年3月末	09年9月末
			10/3末比	09/9末比		
営業職員	(人)	44,024	△0.5	△1.2	44,233	44,556
内勤職員	(人)	13,820	+1.8	△1.7	13,570	14,061

※3月末比、9月末比は増減比率

※従業員数(営業職員)には、当社と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしているものうち、その他補助的業務に従事するものを含む

⑫銀行窓販の状況(第一生命と第一フロンティア生命の合算値)

		2010年9月期		10年3月期	09年9月期	
			09/9期比			
変額年金保険	新契約件数	(件)	23,569	△65,397	138,479	88,966
	金額(収入保険料)	(百万円)	121,961	△356,824	727,136	478,785
定額年金保険	新契約件数	(件)	3,250	△3,627	14,283	6,877
	金額(収入保険料)	(百万円)	14,616	△20,286	70,638	34,902

※銀行窓販の対象となる金融機関に一般証券会社を含めて記載

※9月期比は増減実績

一時払終身	2008年4月以降販売停止
一時払養老	

< 全面解禁商品 >	全面解禁商品の取扱いはない
------------	---------------

## その他質問項目(2010年9月)

## ○「不払い問題」に対する主な再発防止策(カッコ内はその金額)

## ○お支払いに関する情報提供のさらなるレベルアップ

・毎年契約者宛に送付している「生涯設計レポート」は、1契約につき4ページにわたり「契約内容」「給付内容」「保障額」「支払事由」を解説のうえ、請求漏れに関する注意メッセージやセルフチェック欄を掲載していますが、これに加えて「支払事由」のページに「保険金等の支払履歴」を掲載することで、注意喚起をさらにレベルアップしています。具体的には、平成22年度に送付する「生涯設計レポート」に、過去10年分(平成12年度～平成21年度分)の保険金・給付金支払履歴を掲載しています。今後も継続的な請求勧奨のレベルアップを図ります。

## ○「支払業務改善推進プロジェクト」の取組み

・当社では、新たに請求漏れを発生させないように、請求案内の対象範囲の拡大等も実施しながら、支払管理態勢の整備(改善策の実施・見直し)に注力するとともに、過去にご請求いただいた契約に関する検証・対応を進めてきました。こうした中、お客さまが期待されるサービスの水準が一層高まってきていることを踏まえ、平成22年4月に、保険金部内に「支払業務改善推進プロジェクトチーム」を立ち上げました。同年5月に「支払品質改善推進室」として課に準じた組織とし、PDCAサイクルにより各種改善策のレベルアップを図っています。

## ○変額年金保険等の最低保証に係る一般勘定の責任準備金繰入・戻入の状況

			2010年9月期	10年3月期	09年9月期
変額年金保険等の 最低保証に係る 一般勘定の責任 準備金 繰入・戻入	第一生命	(億円)	11	△ 37	△ 26
	第一フロンティア生命	(億円)	184	△ 369	△ 246
	第一、第一フロンティア合算値	(億円)	196	△ 406	△ 273

※繰入額についてはプラスで表示、戻入額についてはマイナスで表示